

2月といえば「福は内、鬼は外」の豆まきです。子供の頃、隣の子が鬼のお面をつけたり交代に私がつけたりして豆を投げ合ったものです。彼が家に来てくれと誘うので行ってみると本格的な用意がされていました。玄関の屋根には、柗の枝に焼いたイワシの頭が刺さった物が飾ってありました。豆も袋入りで渡してくれました。豆まきのあとお団子をご馳走になって嬉しい気持ちで帰ってきたことを覚えています。豆まきに続き最近では「恵方巻」が流行し、ある方角に向かって食べると願いが叶うとかで豆まきより主役になっているようです。また、お正月に戻りますが、頂いた年賀状には日本全国にお得意さんがある老舗の饅頭屋さん、お年賀状は本年をもつて終わりにし、心でございさつ申しあげますとあったのです。年賀状は他にも3件ありました。郵便局では15日で年賀状は片付けられていました。昨年までは少し置いてあったかと、記憶違いかもしれません。昔は毎年160枚くらいの年賀状を筆字で一人一人を思い浮かべながら書いたのですが、今年は50枚足らずになりました。我が家でも孫たちがスマホにひ孫と一緒に動画のあいさつがあり、いつも同居しているようです。時代と共に淋しさと優しさを感じています。

さて、2月5日(日)には、いよいよ「もののけ姫」を、かつて一世を風靡したカウチャーテナーの米良美一さんと私共の赤い靴ジュニアコーラス、ザ・シワクチャーズ横浜、横浜☆男声合唱団員、こどもミュージカルのメンバーが杉田劇場で歌います。中村館長さんからお声がけ頂いたお話ですが、素晴らしい経験になることと思います。かなり難しい曲を数回の練習で仕上げるのですから、先生方の指導にも熱がこもっています。1月28日と2月4日には、当日ピアノ伴奏もされる杉田劇場の中村館長さんがスタジオに見えて、アドバイスをされたり、皆の気持ちを楽にしてくれています。生まれつき骨の難病に苦しみながら、洗足音楽大学から国費留学生としてオランダで学んだ米良さんですが、背丈138.5cmのからだで活躍しているのです。「もののけ姫」のお話は、少年・アシタカの住む村にタタリ神と呼ばれる生き物が現れます。村が襲撃されないようアシタカがタタリ神を殺すと右腕に呪いを受けてしまいます。その呪いを解く手がかりを見つけないタタリ神のやっつけた西の地を目指すのです。そのシンシンの森への道中、大きな山犬に育てられた少女・サンに遭遇し、展開するファンタジックな物語です。「自然との共存」がテーマ。当日の様子は今回の赤い靴通信には間に合いませんので2月号に載せたいと思います。そして、2月11日は『建国記念の日』です。初代の神武天皇が即位された日です。私が小・中学生の頃は紀元節と言っていました。古事記でも日本書紀でも計算すると昭和15年が皇紀2600年になるのです。「紀元は2600年」の歌もあり皆で歌いました。計算すると神武天皇は西暦紀元前666年に即位されたことになるのです。「紀元2600年」の年号はアメリカ占領下のGHQによって使用禁止になりました。続いて2月14日はセントバレンタインの日です。女子は気になる男子にチョコレート系のお菓子を贈るのです。国によっては男女分けずお互いに交換するところもあるときいています。かつてローマ帝国では、兵隊は結婚禁止でそのため士気が低



1月21日(土)あかいくつスタジオにて「もののけ姫を歌う」に出演する皆さんに誕生日を祝って頂きました!



2022年12月24日(土)・25日(日)ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルのクリスマスキャロル



2022年12月20日(火)横浜ベイホテル東急のクリスマスキャロル
写真提供: 犬飼裕一氏

※先月はイベントが多かった為クリスマスキャロルの写真掲載は今月号にさせて頂きました。

今後のスケジュール

★2023/2/5(日) 米良美一さんと共演「もののけ姫」を歌う 場所: 杉田劇場 時間: 15:00~17:00 出演: 赤い靴ジュニアコーラス赤隊、ザ・シワクチャーズ横浜、横浜☆男声合唱団、横浜市民こどもミュージカルメンバーより ※赤い靴関係者割引あり・要連絡
★3/12(日) かながわミュージカル賞授賞式 第2位横浜市民こどもミュージカル 場所: 県民共済みらいホール ※
★5/5(金) こどもの日コンサート 場所: みなとみらい大ホール 時間: ①13:00 ②15:30 各回1時間 料金: 一般2,500円 4歳~高校生以下1,500円 0歳~3歳 無料
★6月25日(日) 第36期 赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会 場所: 杉田劇場 ※
★7月30日(日) 中区ダンスフェスティバル2023 場所: 関内ホール・大ホール ※
★8/26(土)・27(日) 横浜市民こどもミュージカル 場所: 関内ホール・小ホール ※

※詳細は後日

く兵隊の役目をしないので、キリスト教であるバレンタインが内緒で結婚させたところ、ローマの皇帝が怒って彼を処刑したのです。それを偲んで多くの人が聖バレンタインと称号をつけて愛の聖人としたということですが、他にもいろいろ説はあるようです。

23日は現天皇陛下・徳仁様のお誕生日で祝日です。国民の象徴としてお元気で居てほしいです。世界的な水の研究者、チェロの奏者としても有名です。陛下の誕生日に並べて私の誕生日を書くのは大変おこがましいのですが、私の誕生日は1月21日、94歳になりました。でも私の寿命は後12年あるのです。もう見聞きされた方もおられると思いますが、私のお話は、家の近くの教会に幼稚園ができる直ぐに私は通うことになりました。稼業が材木商だったので、重いもの、長い物の中でちよこちよ動き回るのは危険なので入れられたのですが、夏休みは休園でいかんともしがたいのです。そこで父は鎌倉雪の下の顔役の大叔父に私を預けたのです。大叔父は、私を一人で置いては出かかず、近所の大仏次郎先生宅など必ず連れて行きました。ある日、午前中は用事があるとかで真ん前の八幡様の境内に蟬捕りに行かれました。大木の蟬は面白いように捕れて籠いっぱいになり持ち帰ると、大叔父が「凄いな53匹も捕れたが、皆死んでるぞ」というのです。私は蟬のことを知らず、捕まえては籠に押し込んだのです。涙が止まりませんでした。大叔父はお墓を作ろうと穴を掘って入れました。木で十字架をつくってその上に建てたのです。「今日は久米正雄先生の所に行くぞ」と連れて行かれました。久米先生は「何だ泣いていたのか」と訊ねられ、大叔父の説明すると、「頼朝は53歳で死んだ。これはまずい、春も53で死ぬぞ」と、言われても実感のない5歳の頃、恐ろしい予感がしたので、「もしもそれ以上に生きてれば丸い平たい小石53個にお経の一字の漢字を筆で書いて、君の53歳の誕生日に境内に蒔いて蟬に謝るんだ。それをすれば春は106歳まで生きられる」と言われたのです。本当に53歳の誕生日に境内で蟬に謝ったのでした。

話は変わりますが、赤2の犬飼さんのお父さんが赤い靴ジュニアコーラスの2022年度の素晴らしい写真集を作ってくださいました。アルバムと申し込み案内書はスタジオにあります。ぜひご覧頂きたいと思えます。

2023年1月31日 団長 松永 春